

対策その

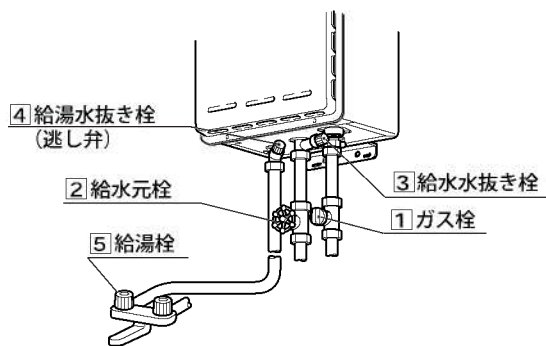
3

水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときにも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※給湯使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

- ① ガス栓①・給水元栓②を開めてください。
寒冷地などで不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓②を開けてください。
 - ② リモコンが接続されている場合は、リモコンの運転スイッチを『切』にしてください。
 - ③ 電源プラグを抜いてください。
(分電盤の専用スイッチを『切』にしてください)
 - ④ 給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)全開にしてください。
 - ⑤ 給水水抜き栓③・給湯水抜き栓④を開けてください。
- ※以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

- はじめてご使用になる場合や、水抜き後の再使用の場合は機器に注水してください。
- ① 電源プラグが抜いてある(分電盤の専用スイッチが『切』になっている)ことを確認してください。
 - ② ガス栓①が閉めてあることを確認してください。
 - ③ 給湯栓⑤をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
 - ④ 給水水抜き栓③・給湯水抜き栓④を閉めてください。
 - ⑤ 給水元栓②を全開にしてください。
 - ⑥ 給湯栓⑤を開け、通水を確認した後に閉めてください。
 - ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
(分電盤の専用スイッチを『入』にしてください)
 - ⑧ リモコンが接続されている場合は、リモコンの運転スイッチが『切』になっている(デジタルモニターが消灯している)ことを確認した後、ガス栓①を全開にしてください。